

ぶんかざい おおた

第13号

平成 22 年 10 月 発行

11月1日～7日は
文化財保護強調週間



文化財まるくん



文化財愛護シンボルマーク

大田区教育委員会では、先人が残した大切な郷土の歴史遺産である文化財の保存、学校教育での文化財活用を積極的に展開しています。

10月1日から11月30日は東京文化財ウィーク事業期間で、区内でも各種の行事が開催されます。皆様のご参加をお待ちしています。

「大田区の石造遺物」を刊行しました！

大田区の文化財に指定されている有形文化財一金石文に種別される石塔・石碑、石鳥居、梵鐘、狛犬等の石造遺物に関する刊行物です。

本書は、区指定文化財 17 件を収録した本編と未指定の石造遺物一庚申供養塔や念仏供養塔、廻国供養塔等、狛犬については、石工銘のあるもの、力石については、紀年銘の有無に係わらず収録した資料編の 2 部構成となっています。

本書が研究資料として十分活用され、また区民の皆様にも大田区の歴史的文化遗产に対するの関心とご理解を寄せていただくことにつながれば幸いです。

規 格 A4 判 137 頁

販売価格 2,000 円

販売場所 郷土博物館

区役所 2 階区政情報コーナー

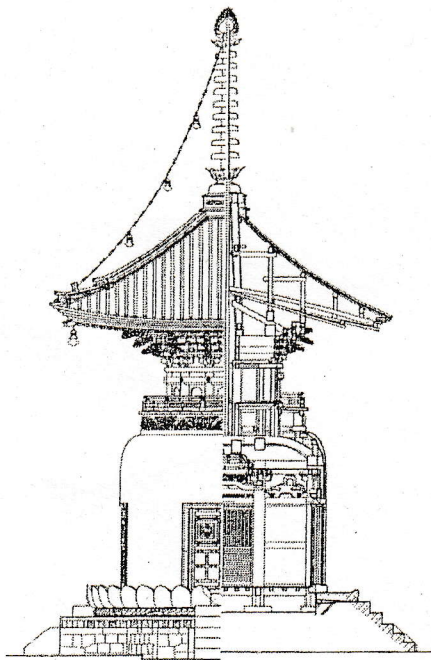


文化財保存事業

／池上本門寺宝塔の保存修理事業

池上本門寺宝塔は、方形の石造基壇の上に蓮華座をつくり、その上に円形の宝塔を建て、さらに方形の屋根を乗せた珍しい造り方をしており、昭和38年3月19日に東京都指定有形文化財に指定されています。

内部四天柱中央の円形須弥壇には、この塔に類似する宝塔形式の厨子が置かれており、附(つかけたり)指定となっています。



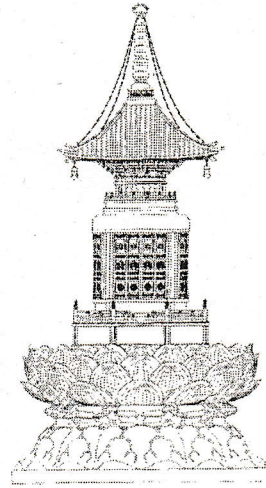
宝塔 (左:立面図 右:断面図)

平成19年度～21年度にかけて保存修理事業が行われ、調査結果をもとに創建当初の姿に修復されました。また宗祖日蓮の550遠忌報恩事業として、江戸芝口講中が本願主となり建立されたことなども確認できました。

修理中に開催した現場の見学会は、事業関係者の苦労や誇りを共感していただく機会となり、昨年は東京文化財ウィーク公開事業として、東京都教育委員会賞を受賞しました。

宝塔形式の塔としては最大規模のもので、建物内外ともに彫刻や彩色によって荘厳化がはかられていることから、意匠的に高い価値が認め

られ、平成22年10月15日の文化審議会で答申が出され、国の重要文化財に指定されることとなります。



小宝塔 (立面図)

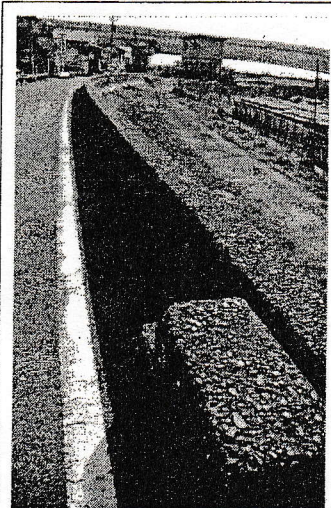
文化財調査

／羽田レンガ堤防調査

文化財には、美術工芸品や建造物などの有形のものをはじめ、人間国宝のような無形文化財や民俗文化財、史跡名勝天然記念物などがあります。さらに近年では「近代化遺産」「文化的景観」も、その対象となってきました。近代化遺産は、幕末から戦前までに近代化の発展に大きくかわりをもつものや近代技術を用いて造られた構造物で、原則、建造後50年を経過したものが対象です。

本羽田3-27(本羽田公園付近)～羽田6-34地先には、かつての暮らしを伝え、多摩川の治水技術を示すレンガ堤防が残っています。

その現状を記録し、保護保存検討のための調査を行いました。



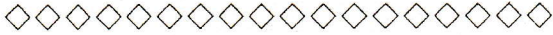
羽田第2水門付近(大師橋と高速大師橋)に残るレンガ堤防

埋 蔵 文 化 財 調 査 報 告



でんえんちょうふいっちょうめ ばんよこあなぼ

田園調布一丁目30番横穴墓



平成21年7月、田園調布一丁目30番の建設工事に伴い、540㎡を発掘調査しました。調査地点は、かつて、この近辺で横穴墓が発見されたことから、横穴墓の遺跡として登録されていた場所です。

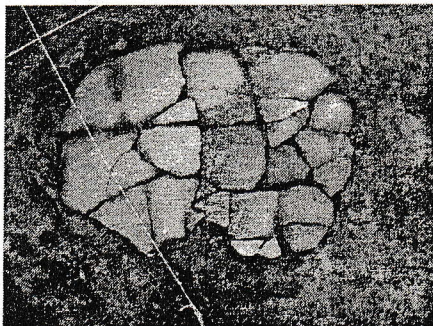
今回の調査では、横穴墓は見られませんが、旧石器時代の礫群3基、弥生時代の住居跡5軒、古墳時代の溝状遺構1基が発見されました。また、遺構は見られませんが、縄文時代の土器も出土しています。なお、調査区内にあった近代の防空壕の跡も調査しました。

今回の調査の最大の成果は、これまで本遺跡が古墳時代～奈良時代にかけての横穴墓の遺跡としか認識されていかなかったが、旧石器時代、縄文時代、弥生時代においても、人々の生活の場として利用されていたことが明らかとなったことです。

今後は、隣接する丸山遺跡や稲荷森(いなりもり)遺跡との関連を明らかにすることが課題となります。



弥生時代住居跡の調査

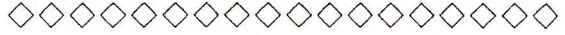


住居跡の土器の出土状況



まるやまいせき

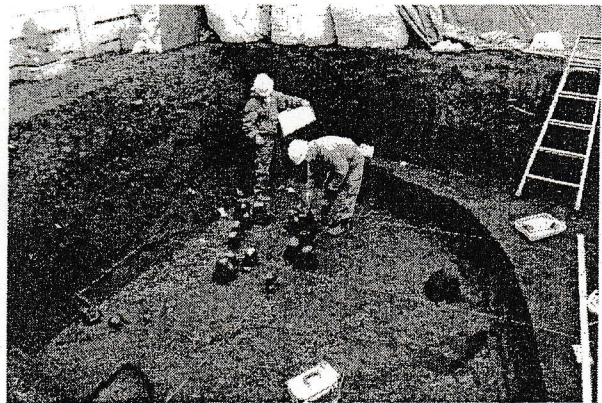
丸山遺跡



平成21年12月、田園調布一丁目10番の建設工事に伴い、48㎡を発掘調査しました。丸山遺跡は、主に弥生時代の集落跡の遺跡です。丸山遺跡の北側に田園調布一丁目30番横穴墓や稲荷森遺跡が位置します。

今回の調査では、弥生時代の住居跡1軒と弥生時代以降と考えられる溝状遺構2基、ピット4基が発見されました。また、遺構は見られませんが、縄文時代の土器も出土しています。

調査範囲の関係で、住居跡は全体の1/4強に相当する範囲の調査となりましたが、住居跡の床面の上から出土した土器から、この住居跡が弥生時代後期に位置づけられることがわかりました。なお、床面のさらに下から柱の跡や別の床面が見つかったことから、この住居は建て替えか、あるいは建て増しが行われたことが考えられます。



弥生時代住居跡の調査

平成21年度 埋蔵文化財調査件数

発掘届：108件

本調査：4件（その内、久ヶ原遺跡1件は22年度も継続して調査）（田園調布一丁目30番横穴墓、丸山遺跡、久ヶ原遺跡2件）

試掘調査：8件（上池上遺跡2件、田園調布一丁目30番横穴墓、八幡塚行方氏館跡、久ヶ原遺跡2件、大森ホテル遺跡、丸山遺跡）

東京文化財ウィーク

公開事業 10月31日～11月9日

企画事業 10月1日～11月30日

この期間、都内全域で国・都指定文化財が公開されるほか、各市町村との連携により各種文化財事業を行います。

大田区では、次の事業を実施します。

◆ 文化財講演会

「池上本門寺宝塔」保存修復現場からの報告
池上本門寺宝塔の修理工事に関する講演会です。

日時 11月6日(土)午後2時～4時

場所 池上会館

講師 武藤正幸氏

(文化財建造物保存技術協会・
池上本門寺宝塔設計監理者)

定員 50名

対象 中学生以上

問合せ先 大田区立郷土博物館
〒143-0025 大田区南馬込 5-11-13

◆ 「池上本門寺宝塔」見学会

保存修理工事を終えた「池上本門寺宝塔」
見学会を行います。

日時 11月7日(日)午前10時～午後3時

雨天中止

申込方法 直接会場へ

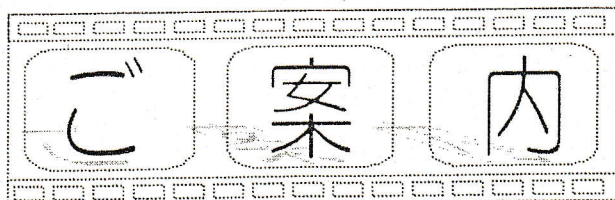
*昨年度、実施した『「池上本門寺宝塔」修理工事現場の公開』事業が、東京文化財ウィーク2009の東京都教育委員会賞を受賞しました。今年は、かつての輝きをとりもどした「池上本門寺宝塔」の内部公開です。みなさまの参加をお待ちしています。

◆ 文化財写真パネル展

区内の遺跡調査、文化財調査、文化財の紹介などの写真パネルや出土遺物を展示します。

期間 10月29日(金)～11月9日(火)

場所 大田区役所 1階 展示コーナー



♥ 文化財の公開

①大坊本行寺 (池上 2-10-5)

「法華経板木」都指定有形文化財

11月3日

午前9時30分～午後4時

「日蓮上人入滅の旧跡」都指定旧跡

10月30日～11月7日

午前9時30分～午後4時

②池上本門寺 (池上 1-1-1)

「五重塔」国重要文化財

午前9時～日没

③多摩川台公園 (田園調布 1-63-1)

「亀甲山古墳」国指定史跡

「宝萊山古墳」都指定史跡

「多摩川台古墳群」都指定史跡

④大森 海苔のふるさと館

午前9時～午後5時 第3月曜休館

祝日は開館

「大森及び周辺地域の海苔生産用具」

国重要有形民俗文化財

参加方法 ①は当日現地へ、②～④は期間以外にも見ることができます。

♣ 文化財ウィークガイドの配布

(数に限りがあります。ご了承ください)

配布場所

郷土博物館

大森海苔のふるさと館

大田区役所 2階 区政情報コーナー

大田区教育委員会 郷土博物館 文化財担当

〒143-0025 大田区南馬込 5-11-13

TEL 03-3777-1281 fax 03-3777-1283